

# KANAGAWA ARTS PRESS

July, 2008

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川県総合文化芸術情報誌  
神奈川芸術PRESS83号(通巻87号)2008年7月15日発行(寄致月15日発行)  
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団 ●禁断転載・複写●

Creator's Voice 102 絵本作家

## かこ さとし

芸術活動支援のページ 03&06

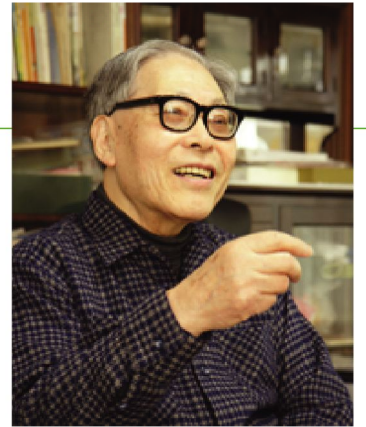
神奈川県内・公立施設催し物情報 04&05

特集 ウラディーミル・アシュケナージ指揮  
EUユース・オーケストラ 07

写真:幸田 森



子どもたちには、判断力を持った心身健やかな人間に育ってほしいと思います。そのための手助けをしたいと思い、創作活動を続けてきたのです。



絵本作家

# かこ さとし

誰も一度は目にしたことがある絵本「だるまちゃんシリーズ」の作者、かこさとしさん。  
神奈川県近代文学館にて8月から行われる「だるまちゃんとてんぐちゃん」展の前に、  
たっぷりとお話を伺いました

「だるまちゃん」は一度見たら忘れられないユーモラスな外見と、快活でとても心優しい性格が強く印象に残ります。でもどうして主人公が「だるま」なんですか？

戦後何年かしてすぐに、ロシアの子ども向け雑誌にマトリョーシカを主人公にした絵話が紹介されたんです。その頃の外国の子ども雑誌を見ると、各国の民族性・国柄がきちんと反映されている。これを日本の玩具でできないかなあと考えて、行き着いたところが「だるま」だったわけです。「達磨はインドの人じゃないか」と言うかもしれないけど、外形を真っ赤な色の郷土玩具にしたのは日本の職人さんのセンス。それに、これは私の企業秘密だけでも、子どもさんていうのは「黄赤ベタ」が好きなんです。児童心理の研究なんかでも、黄色や赤でできたものは赤ちゃんも関心を持つんです。でもね、やっぱり手足を付けてあげました。右向いたり左向いたりじっとしてたりだけじゃ、ストーリーができませんからね(笑)。

「だるまちゃん」以外にもたくさんの個性的なキャラクターを生み出しています。

もともと作家になろうと思っていたわけではなく、始めは化学工場に勤めながら、川崎のセツルメント活動の子ども会で一緒になって遊んだり、お話を作って聞かせていたりしたんです。でもやり出した頃は、徹夜で作った自信作の紙芝居も子どもたちにはちっともウケなくて、聞いている子が一人減り二人減り、みんな田んぼや多摩川にザリガニ釣りとか遊びに行ってしまう。気づいたら赤ちゃんを背負ったばあさんしか残ってなくて(笑)。だってそっちのほうが面白いですよ、ザリガニやトンボなんかは命がけで逃げるんだから(笑)。それでこっちも必死になって(!?)お話を作りました(!!)。毎回子どもたちとの真剣勝負。「下手だね」とか「つまらない」とか一言も言わずに居なくなっちゃうほんものの「批評家」に鍛えられました。そのおかげで強い個性を持つキャラクターを生み出すことができたんです。

どの様なまなざしで子どもたちを見つめ、創作活動を続けてきたのでしょうか？

恥ずかしい話なのであまり言わないのですが、子どもの時は家が貧しかったので、軍の学校に入って任官して、お国のため世のため役に立てるようになりたいと思っていました。でも近視が進み軍人にはなれず、二十歳の時に終戦を迎えて世の中が急に様変わりしてしまっ。その時戦争の本質がようやくわかったという暗愚の至り。だから子どもたちには僕以上の年代の大人のような間違いを起こさないよう、判断力を持った心身健やかな人間に育ってほしい。そのために手助けをしたいと思ったんです。子どもたち自身が学んだり工夫したり判断している、遊びの世界を通してね。

日本全国の子どもたちの遊びを記録した「かこさとし伝承遊び考」がもうすぐ出版されますね？

子どもたちとかかわって半世紀、教育に携わる人間は必ず知っているべきことを、彼らは遊びを通してたくさん教えてくれました。僕はそのすばらしい遊びの数々を、絵図つきの論文みたいにとまとめ、次の時代の子どもたちに恩返ししたいと思いました。今ようやくそれが全4巻の本になるところです。



例えばじゃんけんの掛け声は日本中に色々あるんですよ。「モンチッチ」とか「それいけヒューマ」とか「グリコ」とかね、その時代時代に流行っていた言葉から子どもたちが選んだんです。センスが良い言葉は残るし、つまらなければ消えてしまう。有名かどうかは関係なく、子どもの心の琴線に響くものが自然に選択されちゃんと残る。子どもの伝承力はすごいんです!しかも韻を踏むとか詩人のような文学性まである。

それに子どもの世界では昔から「共生」だったんですよ。ヨチヨチの弟や妹がいても、排除していたら仲間が減って遊びにならないから一緒に遊ぶ。石蹴りでもチビ用の線を作ってあげたりと、違った力、違った年齢の子と一緒に遊ぶ努力を自然としているんです。大人の世界は勝負だから弱者は排除するけど、子どもの世界はただの勝ち負けだけじゃない。どうしたら共に遊ぶことが成り立つかをちゃんと考えて工夫して、鬼ごっこだって何だって楽しむんです。

最近の子どもたちは外遊びをしなくなりましたね？

ええ。公園で子どもが騒いでいると「うるさい!」と怒る大人までいる。子どもたちが遊びを通じて習得する工夫、発見、選択、その力が失われた時、形は生きていたとしても、子どもの本質は死んでしまうと思うんです。

今の日本の子どもたちはなかなか真に育まれる状況にない。そんな社会の将来を思うと恐ろしい気がします。

今回の展覧会は、子どもたちをとりまく状況が変化する中での開催ですね。貴重な原画やかこさんの幼少からのエピソードも紹介されます。

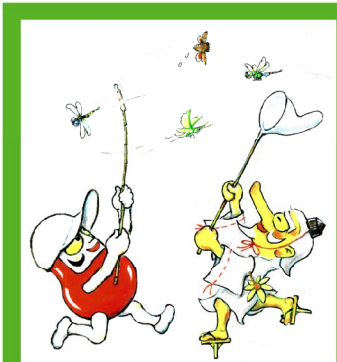
これまで絵だけの展覧会はあったけれど、さすが近代文学館ですね、作者が何を思いついたのか、何でこんなことを書くに至ったのか、思想とか精神を生み出す人間的な面を取り上げてくださる。それは恥ずかしい一面を見せることになってしまうけれど(笑)、ぜひ大いに私自身を掘り起こしていただきたい。

(聞き手・文：編集部)

## プロフィール

かこ さとし (絵本作家・工学博士・技術士)

1926年福井県生まれ。日本を代表する絵本作家。東京大学工学部卒業。民間化学会社勤務のかたわら教育文化活動に従事。1959年「だむのおじさんたち」(福音館書店)を発表し、絵本作家としてスタート。1973年に科学技術と教育文化にわたるコンサルタントとして独立し、出版・放送の分野で幅広く活動。お話絵本から自然科学の知識絵本まで幅広く手がけ、作品数は約500点に及ぶ。代表作に「だるまちゃんとてんぐちゃん」「かすのパンやさん」など。近作に「かこさとし伝承遊び考(全4巻)」(小峰書店)。藤沢市在住。



## 神奈川県近代文学館 <企画展>

かこさとし「だるまちゃんとてんぐちゃん」展

- 会期 8月9日(土)～9月28日(日)
- 休館日 月曜日(9/15は開館)
- 会場 神奈川県近代文学館 第3展示室  
みなとみらい線「元町・中華街駅」下車徒歩8分  
横浜市中区山手町110 045-622-6666
- 観覧料 大人400円 学生200円  
高校生以下、65歳以上は無料。
- 開館時間 9:30～17:00(入場は16:30まで)
- ◆ 記念講演会 講師:かこさとし氏  
「あそびのはなし えほんのはなし かがくのはなし」  
8月24日(日) 13:30から(定員220名・料金800円・要申込)

県では、2010年度のオープンを目指して、横浜市の山下町地区に、神奈川芸術劇場（以下、芸術劇場）の開設準備を進めています。  
芸術劇場の整備内容については、すでに本誌で4回にわたりハード面を中心にご紹介しましたが、今号から芸術劇場で何が行われようとしているのか、そして芸術劇場はどこに向かおうとしているのか、そんな気になる内容を3回シリーズでご紹介させていただきます。

**創造型劇場とは？**

2007年5月15日発行の本誌76号「県立の新ホールの整備内容を紹介します（その1）」の冒頭で、芸術劇場の基本コンセプトについて紹介しています。そこでは「次の3つのテーマを満たす創造型劇場として整備します」として、

- ① モノを「つくる」<芸術の創造>
- ② 人を「つくる」<人材の育成>
- ③ まちを「つくる」<賑わいの創出>

という3つの「つくる」をテーマとして挙げています。この3つの「つくる」を話題に話を進めていきますが、その前に何故、劇場の前にわざわざ“創造型”と付けて「創造型劇場として整備します」と言っているのか。それは、この芸術劇場はモノ（舞台芸術作品）を創るために整備するのですよ、ということ強調しているということなのです。別の言い方をすると、全国各地にある貸館業務主体のこれまでの公立文化施設とは、ひと味もふた味も違う役割を担う劇場であることを明確に打ち出しているというわけです。

そのために、芸術劇場には作品を制作、上演するための専門スタッフが組織される必要があります。その組織がモノを「つくる」<芸術の創造>のミッション（使命）を実現するための原動力になっていきます。実は、すでにモノ創りのための青写真を描き始めています。ある程度準備が整った段階で、皆さんに、え！とか、わぁ！と思われるような話題を振りまいていきたいと、あれもこれもと検討していますので、楽しみにしてください。

**劇場の使われ方**

過去4回にわたり芸術劇場のハード面をご紹介してきましたが、このハードは前述の3つの「つくる」を実現するための施設整備に他なりません。

芸術劇場のハード面の主要部分をもう一度おさらいしてみると次のとおりです。

- ① メインホール（約1,300席）
- ② 大スタジオ（約400㎡）
- ③ 中スタジオ（約230㎡）
- ④ 小スタジオ（約140㎡）×2室

芸術劇場の特徴の一つは、どのスタジオも稽古利用だけに止まらず、本番上演が可能な仕様になっているということです（小スタジオ1室は除く）。大

スタジオは小劇場（可動220席）になりますし、中スタジオや小スタジオも少人数編成の演劇、ダンスなどの上演が可能です。芸術劇場に行けば、いつもどこかで“何か面白いこと”をやっている、そんなワクワク感漂う劇場に育てていきたいと考えています。

もう少し創造者・制作者サイドから制作プロセスを眺めてみます。例えばメインホールでミュージカル、あるいは大スタジオで演劇を上演する場合を想定すると、小スタジオで「本読み（稽古）」、その後、中または大スタジオで「立ち稽古」、そして本番会場で「通し稽古」、「本番」という理想的な段取りを組むことができます。

また、芸術劇場は県民ホールと一体的運営をすることになっています。県民ホールの主催・共催事業のメインは、大ホールはグランドオペラ、グランドバレエ、小ホールは室内楽等の上演であり、芸術劇場は、中規模ホールとしてミュージカル、演劇、ダンス等の上演に相応しい劇場として整備するものです。

このように両施設の棲み分けを図っているのですが、芸術劇場は一方で、その補完機能を持ちあわせています。例えば、芸術劇場の大スタジオは県民ホール・大ホールの舞台とほぼ同じ大きさにしてありますので、県民ホールで上演されるグランドオペラなどの「立ち稽古」の場として大スタジオを使用することも可能となります。

以上のように、両施設を有機的に活用し、効果的で効果的な運営に取り組むのも芸術劇場の特徴の一つと言えます。

さらに、芸術劇場には、大道具・小道具などを自前で作り込むための美術製作室、効果音などを作る音響制作室、衣裳の製作や直しをする衣裳室など、作品創りに欠かせない劇場施設を整備していく予定です。

芸術劇場は、じっくりとモノ創りに打ち込める環境とプロデュース機能をフル活用し、皆さんに魅力的な舞台芸術作品を提供していきたいと考えています。

**創造活動の担い手**

さて、創造活動は劇場スタッフだけが担うのか。い

や、そうではありません。それには多様なモノ創りのあり方があります。劇場スタッフが総力をあげて自主制作するものから、国内外の地域劇場や芸術団体と共同で作品創りをすることもありますし、提携して上演することもあります。また、地域の公共劇場として、地元の舞台芸術関係者と連携して作品創りすることも芸術劇場の重要な役割となります。

そして何よりも、作品に触れる皆さんの感動の声、批判の声、叱咤激励がより良い作品創りに欠かせない担い手と言えます。そうした地域社会との結び付きの中で芸術劇場が育まれていくことが、地域文化の創造につながると考えています。

それでは、芸術劇場でどんな演目が上演されるのか、主要キャストは誰か、演出家は誰か、とても気になるところだと思えますが、それについては、今しばらくお待ちください。



神奈川県民ホール「愛の百夜」より 撮影:鏑山英次

以上が、モノを「つくる」<芸術の創造>の概要になりますが、次号以降で、芸術劇場の貸館システムの特徴と、残りの2つの「つくる」について、話を進めたいと思います。（次号に続く）

\*「神奈川芸術劇場」の施設概要や開設に向けた取組みについては、県のホームページ（<http://www.pref.kanagawa.jp/>）をご覧ください。  
\*KANAGAWA ARTS PRESSのバックナンバーは、神奈川県総合文化芸術情報ホームページ「かな@（アット）」<http://www.kanagawa-at.info/>をご覧ください。



県内文化情報  
のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えのないようお願いいたします。

横浜市

■横浜美術館 045-221-0300

8月30日(土)～11月3日(月・祝)  
10:00～18:00(金曜は20:00まで) ※木曜休館  
特別展 源氏物語の1000年—あこがれの王朝ロマン—  
一般 1,300円 大・高 700円 中学生以下・障害  
者手帳をお持ちの方とその介護者1名無料 ※毎  
週土曜日は高校生以下無料(要学生証)

■横浜みなとみらいホール

8月18日(月) 15:30  
みんなのオーケストラ 2008夏  
大人 2,000円 子ども(高校生以下) 500円  
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107

■横浜能楽堂 045-263-3055

源氏物語千年紀 横浜能楽堂企画公演  
「源氏物語—それぞれの恋心」(全5回シリーズ)  
8/9(土)「夕顔—儂い恋の花」  
9/13(土)「六条御息所—誇り高い愛を怨み」  
11/3(月・祝)「玉葛—乱舞する蜚と恋」ほか2回  
各回14:00 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円

■横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515

8月15日(金) 15:00、16日(土) 13:30～18:00、  
17日(日) 15:00  
五大路子ひとり芝居「横浜ロザ 赤い靴の鳩場の伝説」  
一般 4,200円 学生 2,700円(枚数限定)

■横浜市民ギャラリー 045-224-7920

9月5日(金)～26日(金)  
ニューアート展2008 ブラジル×ヨコハマ時の懸け橋  
一般(18歳以上) 500円、障害者手帳をお持ちの  
方とその介護者1名無料

■横浜市民ギャラリーあざみ野 045-910-5656

8月20日(水)～31日(日) ※25日(月) 休館  
あざみ野「夏の」こどもぎやらし 2008 無料

■神奈川区民文化センター

かなっくホール 045-440-1211  
9月15日(月) 14:00  
ジャパネスクコレクションシリーズ「春風亭昇太 at  
かなっくホール スペシャルゲスト is ラサール石井」  
全席指定 3,500円

■港南区民文化センター

「ひまわりの郷」ホール 045-848-0800  
8月30日(土) 13:00 17:00  
手話パフォーマンスいろいろぐみ2008年  
夏休みイベントすみえとせいじの手話の大冒険  
全席指定 大人2,500円(当日3,000円)  
子ども(4歳～小学生) 1,500円(当日2,000円)

■泉区民文化センター

「テアトルフォンテ」ホール 045-805-4000  
8月23日(土) 14:00  
親子でできコンサート「ピーターとおおかみ」  
全席自由 おとな1,200円 こども(5歳～小学生) 800円

■県立神奈川近代文学館 045-622-6666

8月9日(土)～9月28日(日) ※詳細は2ページ  
企画展 かこさとし「だるまちゃんどてんぐちゃん」展

同時開催

常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち展第1部  
(国木田独歩展示拡大)」  
大人400円 20歳未満及び学生200円 高校生以下・65歳  
以上無料

8月24日(日) かこさとし記念講演会 ※詳細は2ページ

9月13日(土)

没後100年記念 国木田独歩朗読会「武蔵野」  
出演・久米明 全席自由 1,000円 定員220名

■県立青少年センター多目的プラザ

8月23日(土)・24日(日) 13:00/16:00  
第2回高校生のための芝居塾&  
G/9-Project Act.12「12人の怒れる…」  
全席自由 一般1,000円 高校生以下500円  
G/9プロジェクト事務所 045-777-7087

■県立歴史博物館 045-201-0926

http://ch.kanagawa-museum.jp/  
前期:8/9(土)～31(日) 後期:9/6(土)～28(日)  
9:30～17:00 ※月曜休館(9/15は開館) ※金曜日は特  
別展のみ9:30～20:00(入館は閉館の30分前まで)  
特別展 横浜開港150周年記念  
「五姓田のすべて—近代絵画への架け橋—」  
20歳以上800円 20歳未満・学生500円 65歳以上・高  
校生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料

8月30日(土) 13:00

シンポジウム「未知なる五姓田をめぐって」  
横浜美術館レクチャーホール 資料代 ※申込は往  
復はがきかHPのフォームメールにて  
8/20(水) 必着 定員 100名

9月6・13・20・27日・10月4日(土、全5回) 14:00

県博セミナー「かながわの近代化遺産」  
5,000円+猿島見学船代等1,000円程度  
\*申込は往復はがきか、HPのフォームメールにて  
8/27(水) 必着 定員 70名

川崎市

■川崎能楽堂

9月27日(土) 13:00 / 16:00  
第84回川崎市定期能  
1部 能楽普及公演(トークと実演)  
2部 狂言「秀句傘」 能「通盛」

各部4,000円 (財)川崎市文化財団044-222-8821

■新百合21ホール

9月20日(土)～29日(月) 10:00～19:00  
川崎を代表する画家6名の絵画作品を展示  
「六つの軌跡—川崎の作家」展  
入場無料 (財)川崎市文化財団044-222-8821

■ミュゼザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

MUZA de ナイトコンサート  
8月28日(木) 19:00  
第5回～菅哲也パイプオルガンコンサート～  
9月10日(水) 19:00  
第6回～Rick Overton Unit ジャズライブ～  
全席自由 1,000円

9月21日(日) 14:00


ミュゼザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団  
名曲全集 第40回  
S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円

■IBM市民文化ギャラリー 044-222-8821

9月24日(水)～10月13日(月・祝) 11:00～19:00  
「—風景・静寂の記憶—河川 聖」展 無料

横須賀・三浦地区


■よこすか芸術劇場 046-823-9999

http://www.yokosuka-arts.or.jp  
8月2日(土)・3日(日) 16:00   
ヨコスカジャズドリームス2008  
S6,000円 A4,000円 立見2,000円  
学生(24歳まで) 全席半額

9月7日(日) 15:00 

第14回東京交響楽団&米海軍第7艦隊バンド  
アメリカン・サウンド・オブ・ヨコスカ  
S終了 A3,500円 B2,500円 学生(24歳迄) 全席半額

■ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 046-823-9999

http://www.yokosuka-arts.or.jp  
9月20日(土) 15:00   
横須賀芸術劇場リサイタル・シリーズ17  
鈴木愛理ヴァイオリン・リサイタル  
S 3,000円 A 2,500円 学生(24歳迄) 全席半額

■横須賀美術館 046-845-1211

8月2日(土)～10月5日(日)  
ライオネル・ファイニンガー展  
10:00～19:00(土曜は20:00) \*10月から18:00ま  
で \*8/4(月)・9/1(月)は休館  
一般900円 高・大・65歳以上700円 中学生以下無料  
ライオネル・ファイニンガー展 講演会  
8月2日(土) 14:00 講師 ウルリッヒ・ルックハルト  
9月7日(日) 14:00 講師 前田富士男  
無料 先着70名

■鎌倉芸術館 大ホール 0467-48-4500

8月1日(金) 18:00  
鬼原良尚指揮 小澤征爾音楽塾オーケストラ&  
合唱団特別演奏会2008 J.シュトラウスII:  
喜劇歌「ごもり」(演奏会形式)  
S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円

9月15日(月) 15:00

中村絢子ピアノ・リサイタル  
S 6,000円 A 5,000円

ギャラリー

9月26日(金)～9月30日(火)  
10:00～18:00(最終日は17:00まで)  
鎌倉市民文化祭 第60回鎌倉市展 美術展  
入場無料 鎌倉市民文化祭企画運営委員会  
事務局 0467-23-3000(内線2541)

■県立近代美術館 葉山 046-875-2800

8月9日(土)～10月5日(日)  
9:30～17:00(入館は16:30まで)

column: 県立金沢文庫

金沢文庫は鎌倉時代のなかごころ、金沢北条氏(北条氏の一族)の北条実時が蔵書を収めた文庫を起源としてしています。現在の県立金沢文庫は中世歴史博物館として、年6回の展覧会を開催し、鎌倉時代の諸相を今日に伝える貴重な文化財を公開しています。

企画展「徒然草をいろうる人々」8月7日(木)～9月28日(日)

兼好法師は『徒然草』の作者として有名ですが、その生涯はよくわかっていません。本展示では、兼好法師の実像とともに、『徒然草』の隠れた真実にせまります。

■開館時間: 9:00～16:30(入館は16:00まで)

■休館日: 毎週月曜日(祝祭日を除く)  
祝日の翌日、年末年始、展示替等による臨時休館

■観覧料: 20歳以上(学生除) 250円、20歳未満・学生150円、高校生等以下・  
65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料 ※特別展は別途料金

■交通: 京浜急行・金沢文庫駅より徒歩12分、  
シーサイドライン・海の公園柴口駅より徒歩10分

■所在地: 〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142

■電話: 045-701-9069 FAX: 045-788-1060



「兼好法師画像」(部分)

## 神奈川県・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

休館日:月曜(9/15は開館)、9/16(火)、24(水)  
**生誕100年記念 秋野不矩展**  
 一般 900円、20歳未満と学生 750円、65歳以上  
 450円、高校生以下と障害者の方は無料

### ■逗子文化プラザホール 046-870-6622 なぎさホール

9月7日(日) 14:00  
**逗子名人会「紙工劇落語」**  
 全席指定 3,500円(当日 4,000円)

9月15日(月・祝) 14:00  
**能狂言公演 鞍馬天狗**  
 全席指定 3,500円(当日4,000円)小中学生1,500円

**さざなみホール**  
 9月8日(月) 18:00  
**パッパ・コレギウム・ジャパン バロックダンス講座**  
 全席自由 1,500円 定員50名

**■三浦市民ホール**  
 8月3日(日) 16:30  
**ミュージカル5(ファイブ)**  
 全席自由 2,000円(当日2,500円)  
 中学生以下1,500円(当日2,000円)  
 三浦市教育委員会生涯学習課 046-882-1111(内線411)

**■三浦市三戸海岸**  
 8月16日(土) 6:00  
**三戸のお精霊流し(神奈川県指定無形民俗文化財)**  
 無料  
 三浦市教育委員会生涯学習課 046-882-1111(内線412)

### 湘南地区

**■ひらつかアリーナ**  
 8月16日(土) 13:30  
**①ファミリーシネマ劇場**  
**「ルイスと未来泥棒」「アース」 無料**

**■ホテルサンライフガーデン**  
 9月26日(金) 18:30  
**②国際音楽の日記念チャペルコンサート**  
**心に残る名曲をあつめて**  
 全席自由 2,000円(コーヒー又はワイン付)

**■平塚市中央公民館ホール**  
 9月27日(土) 13:30 / 28日(日) 13:00  
**③第7回市民演劇フェスティバル**  
 全席自由 500円  
 ①～③とも(財)平塚市文化財団 0463-32-2237

**■湘南台文化センター市民シアター 0466-28-1135**  
 9月6日(土) 16:00  
**トワイライトコンサートVol.2～シューマンの肖像～**  
 全席指定 2,500円

9月15日(月・祝) 18:00  
**鬼灯町鬼灯通り三丁目**  
 全席指定 3,500円

**■茅ヶ崎市民文化会館大ホール 0467-85-1123**  
 8月23日(土) 19:00  
**「スアール・アヴン」インドネシア巨竹の打楽器、ジェゴ!**  
 全席指定 一般 4,000円 中～大学生 2,000円  
 小学生 1,000円

9月21日(日) 14:00  
**創立25周年記念 茅ヶ崎交響楽団**  
**第50回定期演奏会**  
 全席自由 1,000円

**■茅ヶ崎美術館 0467-88-1177**  
 7月27日(日)～9月7日(日)  
 10:00～18:00(入館は17:00まで)水曜休館  
**夏の福袋 I 「こころのアイスクリーム」**  
**II 「コドモの仕事場EXHIBITION」**  
 無料 ※8月14日(木)～16日(土)は展示替のため常設展(有料)のみ観覧可

**■秦野市文化会館 大ホール 0463-81-1211**  
 9月20日(土) 17:30  
**鼓童**  
 全席指定 4,000円 高校生以下 2,000円

**小ホール**  
 8月3日(日) 15:00  
**秦野納涼寄席(桂ざこば、桂米助、柳家さん喬)**  
 全席指定 3,000円

**■大山阿夫利神社 能楽殿 0463-92-2300**  
 8月23日(土) 15:00  
**第6回「大山サマージャズ&ラテンフレンドシップ」コンサート**  
 全席自由 1,000円(当日1,300円)高校生以下 500円

**■伊勢原市民文化会館 0463-92-2300**  
**大ホール**  
 8月3日(日) 10:30/13:30/16:00  
**夏休み子ども向け映画「ポケモン」**  
 大人1,700円 中・高生1,200円 3歳～小学生1,000円

**小ホール**  
 8月16日(土) 10:00～  
**いせはら名画座**  
 ①「ニッポン無責任時代」②「喜劇 女は男のふるさとヨ」③「幕末太陽伝」④「本日休診」  
 各500円 4本セット券 900円 中学生以下 無料

**■二宮町生涯学習センター 0463-72-6911**  
**(ラディアン)ホール**  
 8月31日(日) 18:30  
**フルートとギターの饗宴 ピセンテ・マルチネス・ロ**  
**ベス&高木真介 Japan Tour 2008**  
 全席自由 3,000円

9月7日(日) 14:00  
**続・藝づくし東海道五十三次 第七弾**  
**(岡崎宿～四日市宿まで)**  
 全席指定 4,000円

### 県央地区

**■厚木市文化会館 046-224-9999**  
**大ホール**  
 9月6日(土) 17:00 / 7日(日) 14:00  
**文化会館開館30周年記念「音楽劇 リバーソング」**  
 S 3,000円 A 2,500円

9月25日(木) 13:00  
**文化会館開館30周年記念「松竹大歌舞伎」**  
 S 6,800円 A 5,800円 B 3,500円

**小ホール**  
 9月26日(金) 18:30  
**フィンランドのハーモニカ・カルテット「スヴェング」**  
 全席指定 3,000円

**■大和市生涯学習センターホール 046-261-0491**  
 8月24日(日) 13:00  
**大和市子ども演劇フェスティバル**  
 無料

**■海老名市文化会館小ホール 046-232-3231**  
 8月9日(土) 18:00  
**ムジスタ・スペシャルコンサート**  
 全席指定 3,000円

8月29日(金) 19:00  
**金子みすゞの世界を綴る**  
 全席指定 2,500円

### 県北地区

**■グリーンホール相模大野 大ホール**  
**チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999**  
 9月20日(土) 15:00 **☆託児**  
**シエナ・ウインド・オーケストラ**  
 全席指定 一般5,000円 大学生3,000円

高校生以下2,000円

**多目的ホール**  
 8月2日(土) 14:00  
**大蔵基誠がご案内する親子で楽しむ伝統芸能**  
**「狂言でわっはっは」**  
 全席指定 大人2,000円 子ども(5歳～小学6年生)1,000円

8月9日(土) 18:30  
**観るためプロジェクト2008**  
**佐々木梅治 芝居・読み語り「父と暮せば」**  
 全席自由 2,800円(整理番号付)おやこチケット  
 5,000円(親子であれば年齢、性別の制限なし)

**■社のホールはしもとホール**  
**チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999**  
 8月25日(月) 19:30 **☆託児**  
**シリーズ「社の響き」vol.14**  
**ジュゼッペ・アンダローロピアノ・リサイタル**  
 全席指定 一般 3,000円(当日3,500円)  
 学生 1,000円(当日1,500円)

**■相模原市民ギャラリー 042-776-1262**  
 8月2日(土)～24日(日)  
 10:00～19:00(入館は18:30まで)※水曜日休館  
**学生企画による学生作家の展覧会**  
**「わたしはあなたが理解できない**  
**ーそこから始めるコミュニケーションー**  
 入場無料

**■県立藤野芸術の家 工房 042-689-3030**  
 7月19日(土)～8月31日(日)当日受付  
 9:00～12:00 13:00～15:00  
**夏休み 工作メニュー**  
 ①「木で作る昆虫」1000円  
 ②「木の実で飾る鏡・宝箱」1300円  
 ③「ガラスや貝で飾る手作り鏡」1300円

**クリエイションホール**  
 9月28日(日) 15:00  
**ジャズミニコンサート「初めてのジャズ」**  
**～初心者も楽しめるコンサート 300円**

### 西湘・足柄地区

**■小田原市民会館 募集**  
 公演日 平成21年3月22日(日) 14:00  
**みんなで歌おう!!～市民による第九演奏会～**  
**合唱団員募集**  
 8月25日(月)までに電話。申込書を郵送します。  
 参加練習費 一般11,000円 高校生以下8,000円(チケット1枚含む)  
 小田原市役所文化交流課 0465-33-1706

**■真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128**  
 9月27日(土)～11月24日(月・祝)  
 9:30～16:30(入館は16:00まで)  
**開館20年記念特別展 駒ヶ岳への道一旅を重ねてー**  
 大人800円 高校生以下400円

**■町立湯河原美術館 0465-63-7788**  
 開催中～9月29日(月)  
 9:00～16:30(入館は16:00)水曜休館(祝日の場合は営業、翌日が休み)  
**平松礼二館企画展「モネの池・四季」**  
 大人600円 小・中学生300円(15名以上の団体は100円引)

**■南足柄市文化会館大ホール 0465-73-5111**  
 9月7日(日) 17:30  
**夏川りみ 歌さかしの旅 2008～2009**  
 全席指定 5,500円

9月14日(日) 14:00  
**劇団東少ファミリー名作ミュージカル**  
**「アルプスの少女ハイジ」**  
 全席指定 2,000円



美しい自然に恵まれた湘南・東海道の間の宿場、二宮町。  
この町にはボランティアスタッフが主体的に公演の実施に参加するユニークな公共ホールがあります。  
二宮町生涯学習センター「ラディアン」でのボランティアとの取り組みをご紹介します。

**催し物当日、ボランティアスタッフが  
ラディアンに集合します！**

去る3月14日から3日間、ラディアン内のホールで「親指こぞう〜ブケッティ〜」(原作:シャルル・ペロー、主演:ともさと衣)が開催され、ラディアンのボランティアスタッフはホール業務の多くを担って活躍しました。

ラディアンが神奈川県民ホールと共催で実施したこのお芝居は、子どもも大人も劇場内の特設小屋に設置されたベッドで寝そべりながら、女優さんのひとり語りを聴くというもの。客席がベッドなので当然毎回の終演後は、シーツを交換するなどベッドメイクの作業が発生します。また、多くの子どもたちが見に来るお芝居ですから、入場前の列整理や終演後のアンケート回収など、意外と手間がかかる作業がいくつもあります。今回は15名のボランティアスタッフがホール職員等と一緒にそれらの業務を行いました。それだけでなくホール内に舞台装置を建てる「仕込み」作業と、公演終了後に片付ける「バラシ」作業にも加わって、いわゆる裏方仕事も一緒に行いました。

一般的に公共ホールでは公演の際、裏方の仕



「親指こぞう」スタッフミーティングの様子

込み・バラシだけでなく、大半の業務をホール職員や専門の舞台スタッフが担当します。でもこのラディアンではホール主催の催し物の際、もぎり、プログ



別の演奏会の開場時の様子。  
お客様をみんなでお迎えします。

ラム配布、ドア係、ロビーでの物販、アンケート回収など、接客サービスの大半をホールのボランティアスタッフが受け持つのが特徴。カメラが得意なスタッフは公演の記録撮影を担当し、数名の女性スタッフが近隣から花をもらってきてロビーや楽屋に飾るなど、それぞれの得意分野で力を発揮する姿も見られます。

**ラディアンとボランティアスタッフの  
関係の始まりとその極意**

ではどのようにしてこのボランティアスタッフが誕生したのでしょうか。ラディアンは二宮町の生涯学習や文化振興の拠点として、平成12年(2000年)に図書館との一体施設として開館しました。それに先立ち、町の生涯学習課が主催する生涯学習ボランティア活動のひとつとして、新設ホールでの会場案内や場内設営スタッフをするグループが募集され、登録した約20名のボランティアが、ホールの完成とともに活動を開始しました。月1回の例会



で次の催し物の役割分担やホール職員との意見交換をし、時には防災訓練にも参加しながら活動を続けています。

**「いちばん大切なことは、ボランティアとホールとの  
スタッフ同士の信頼関係です」**

「ボランティアスタッフ一人ひとりの性格まで理解して細かく対応する必要があります」とラディアンでボランティアのとりまとめをしている職員の方の山岸友子さんは言います。「義務感を押し付けても長続きしません。ホールからお願いしたい業務を丁寧に説明したり、公演後のボランティアからの意見に耳を傾けたりして、時間をかけて対等に付き合っ

て、ようやく信頼関係ができて上がるのです」。

ラディアンを管理・運営している二宮町文化施設等振興協会事務局長の山口眞弘さんは「山岸さんの細やかな気遣いがなかったらうまくいかなかったかも」と言います。ホールの客席が502席に対し、二宮町民を中心とした約20名のボランティアという規模が職員の目が届くちょうどいい範囲なのだとも。時にはボランティアスタッフにチケットの販売促進に協力してもらうこともあるそうです。「来るものは拒まず、去るものは追わず、の精神でないとボランティア組織は続けていきません」と山口さん。「予算の関係で専門のスタッフにでなく、ボランティアに全面的にお願いすることが多いですが、これにより施設全体が活性化していきますね」。

二宮町ラディアンでのボランティア活動は、県内でも先進的な公共ホールの取り組みとして今後も注目していきたいですね!

(取材協力:二宮町生涯学習センター「ラディアン」 取材・執筆:編集部)

二宮町生涯学習センター「ラディアン」の催し物はホームページでご覧いただけます。  
<http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/kurasi/sisetu/radiant/index.html>  
二宮町の団体・サークル・ボランティア情報はこちらから。  
<http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/kyouiku/syogaigakusyuyokaguid.html>

**小田原でも上演決定!『親指こぞう〜ブケッティ〜』小田原公演**



**親指こぞう〜ブケッティ〜**

- 日 時  
12月12日(金) 18:00 13日(土) 11:00/15:00 14日(日) 11:00/15:00 全5回公演
- 会 場  
小田原市民会館・小ホール(JR・小田急線 小田原駅 徒歩10分)  
小田原市本町1-5-12
- チケット発売:9月末予定

**この公演のボランティアスタッフを募集しています!**

内容は受付、ベッド(客席)メーカーキングなど。  
ご興味のある方は(財)神奈川県芸術文化財団(TEL045-633-3766)までお問い合わせください。

#001 オーケストラ

ウラディーミル・アシュケナーズ指揮 EUユース・オーケストラ

## 神奈川県民ホールに真夏の一番星!

## 未来の首席奏者たちと巨匠アシュケナーズが贈るヨーロッパ発の音楽・夢物語!

カラヤン、バーンスタイン、ジュリーニ、ショルティが競ってタクトを振った凄腕オケ初来日!



©木之下 晃

「EUユースオケ」をご存知ですか? 1978年クラウディオ・アバドによってEU加盟25カ国の優秀な若手演奏者を集めて結成され、以来バーンスタイン、カラヤン、ロストロポーヴィチ、ショルティと大御所指揮者を客演に迎え、世界各地の名ホール、音楽祭に出演して、相互理解と平和を理想とするヨーロッパの理念を体現してきたオーケストラです。

参加者は現メンバーも含め毎年厳しいオーディションで選ばれ、「卒業後」は欧州主要オケの首席奏者クラスに育ってゆくという、まさに欧州が誇る「未来の宝石」たち。今年8月、県民ホールに名指揮者、ピアニストとしておなじみの音楽監督ウラディーミル・アシュケナーズとともに初登場。マーラーとリムスキー＝コルサコフによる大曲プログラム2つを披露します。日本で選抜された若手奏者も特別参加し、他にも室内楽コンサートや、アシュケナーズが子どもたちに語りかけるエデュケーション・プログラムなども予定。まさに21世紀の世界の音楽シーンを担う綺羅星たちとともに音楽の未来に思いをはせる一大フェスティバルです!

## 秘曲!リムスキー＝コルサコフの歌劇「不死身のカシチェイ」日本初演!

プログラムではマーラー不朽の名作「復活」はもちろん、今回特に注目なのは没後100年のリムスキー＝コルサコフの歌劇「不死身のカシチェイ」日本初演(演奏会形式)。

「スペイン奇想曲」など彩り豊かな民族色溢れる音楽で知られる巨匠リムスキー。カシチェイとは耳慣れない名前ですが、ストラヴィンスキーのバレエ音楽「火の鳥」やヤナーチェクの室内楽「おとぎ話」にも登場、とクラシックファンなら実は知らずに触れたことがあるロシア・東欧ものの定番キャラなのです。不死身で冷酷な冥界の王としてロシアの子ども達にもおなじみとか。リムスキーはこの題材を不気味なまでの美しさを持つ深いドラマに創作しました。

妖艶な千一夜物語の「シェエラザード」とともに絢爛豪華に繰り広げられる音楽物語。真夏の宵のひと時にたっぷり酔いしれてください!



8/22 (金) 19:00 R=コルサコフ没後100年記念

リムスキー＝コルサコフ/  
交響組曲「シェエラザード」  
歌劇「不死身のカシチェイ」全1幕(演奏会形式/日本初演  
字幕付原語上演)※第二部の途中入場はできません。  
志田雄啓(テノール)、マリナ・シャグチ(ソプラノ)、アレクサンダー・ゲルガロフ(バリトン)  
アンジェリナ・シェバチカ(メゾ・ソプラノ)、大塚博章(バス)、二期会合唱団

8/24 (日) 15:00

マーラー/交響曲第2番「復活」  
園田真木子(ソプラノ)  
坂本 朱(メゾ・ソプラノ)  
東京音楽大学合唱団

会場 神奈川県民ホール大ホール 料金 各公演ともに S12,000円 A9,000円 B7,000円 C5,000円 D3,000円 学生席2,000円 ※未就学児の入場はご遠慮願います。  
※詳細は神奈川県民ホールホームページ <http://www.kanagawa-kenminhall.com/> をご覧ください。

▼関連プログラム これらの特別プログラム聴講者は、8/19～21大ホールの公開リハーサルをご覧ください。

アシュケナーズ エデュケーション・プログラム第1弾  
プレ・レクチャー

「ロシア音楽の真髄  
～リムスキー＝コルサコフを中心に～  
〈没後100年特別企画〉」

8/18 (月) 19:00

講師:ウラディーミル・アシュケナーズ  
※大人向けのレクチャーです。  
会場:神奈川県民ホール小ホール  
料金:全席自由 一般1,000円 学生500円

EUユースのセレクトメンバーによる  
室内楽コンサート!  
「アンサンブル・コンサート」

Part1 8/20 (水) 19:15

Part2 8/21 (木) 19:15

シューベルト/弦楽五重奏曲より  
ブラームス/弦楽六重奏曲より ほか(予定)  
会場:神奈川県民ホール小ホール  
料金:両日とも全席自由500円

アシュケナーズ エデュケーション・プログラム第2弾

「子どもたちの未来のために伝えたいこと」

8/23 (土) 15:00

アシュケナーズがステージのオーケストラ席に子どもたちを招き入れ、指揮台から子供たちに語りかける、夏休みの特別体験!  
会場:神奈川県民ホール大ホール ステージ上  
料金:全席自由 一般1,000円 学生500円  
受講対象:小学生から高校生200名  
※小学校高学年の方々を中心とした内容とする予定です。  
※同行される保護者の方もチケットが必要です。

チケットの  
お求めは

インターネットチケットセンター(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

県民ホールチケットセンター

045-662-8866



音楽堂チケットセンター(9/1以降休館)

045-263-2255

アクセスはホールニュースの地図を参照ください。取り扱いチケットの最新情報はホームページでご覧になれます。 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>



## かながわアートホール

### ■見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団リハーサル公開(予定)無料

7月 25(金) 26(土) 29(火) 30(水)

8月 5(火) 22(金)

9月 10(水) 11(木)

※日時・内容が変更になる場合がありますので、  
詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局  
(TEL045-331-4001)までお問合せください。

### ■休館日

7/22(火)、7/28(月)、

8/4(月)、8/11(月)、8/18(月)、8/25(月)、

9/1(月)、9/8(月)

横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-341-7657

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/arthall/>

### Yokohama HOOD!!#8

～ストリートミュージシャンフェスティバル横浜～

セミファイナル:11/15(土)・16(日)かながわアートホール

ファイナル:12/23(火・祝)横浜赤レンガ倉庫1号館

◎出場者募集:9/17(水)まで(消印有効)

◎テープ審査:9月末

◎参加費:エントリーは無料。但し、テープ審査通過者については別途、参加負担金あり。

◎一般(オリジナル)、一般(カバー)、学生の3部門に分かれて優勝者を決めるライブコンテスト

▼お問合せ

NPO法人ARCSHIP TEL045-243-2247

又は県民部文化課文化事業班 TEL045-210-3808

▼応募資格・方法の詳細 <http://www.arcship.jp/yh/>



神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840

横浜市中区日本大通1-7231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804~3806 <http://www.pref.kanagawa.jp/>



広告

コココーセントラルジャパン株式会社

〒220-8588 横浜市中区日本大通1-7231-8588

<http://www.cccj.co.jp>

Coca-Cola® The Official Company of the Olympic Games™

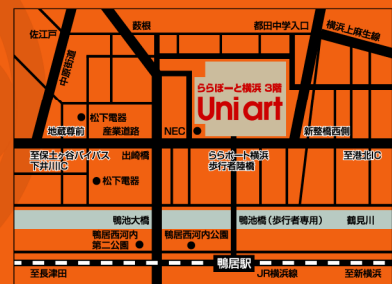


クラフト・画材・文具の店

Uniart

MONO  
TSUKURI  
LaLaport YOKOHAMA

<http://unidy.info/uniart/>



ららぽーと横浜3F ヨーカドーさんと

車でのアクセス 無料シャトルバスのご案内

東名高速道路 横浜青葉ICより4.5km 鴨居駅北口発 毎時 00分・30分

第三京浜 港北ICより2.5km (始発のみ9:40発/最終21:00発)

電車でのアクセス 鴨居駅(徒歩専用) 鴨見川

JR横浜線鴨居駅より徒歩7分 (始発のみ10:00発/最終21:30発)

ららぽーと横浜店 横浜市都筑区池辺野4035-1

☎045-414-2370

営業時間 AM10:00~PM9:00

Uniart 湘南平塚店 神奈川県平塚市久保1-2

☎0463-25-0784

営業時間 AM9:30~PM9:00

広告

## 第15回神奈川国際芸術フェスティバル協賛企業・団体ご芳名

第15回神奈川国際芸術フェスティバルは2008年4月19日より6月22日の間開催され、多数の方々にご来場いただきました。ここに、今年度ご支援いただきました皆様のご芳名を掲載し感謝の意を表します。

### ■協賛

株式会社浅岡装飾  
学校法人岩崎学園  
上野トランステック株式会社  
株式会社ヴォートル  
株式会社NHKアート  
NTT東日本神奈川支店  
財団法人神奈川県経営者福祉振興財団  
神奈川県信用保証協会  
神奈川県民共済生活協同組合  
神奈川県理容生活衛生同業組合  
株式会社神奈川孔文社  
株式会社神奈川保健事業社  
神谷コーポレーション株式会社  
川本工業株式会社  
株式会社キョウエイ装備  
ギンビール株式会社横浜統括支社  
株式会社ケイエスビー  
グレップ・ジャパン・システムズ株式会社  
株式会社合同通信  
生活協同組合コープかながわ  
国際警備株式会社

相模鉄道株式会社  
株式会社ジェイエムアンドカンパニー  
湘南信用金庫  
鈴廣かまぼこ株式会社  
生活クラブ生活協同組合  
株式会社清光社  
設備メンテナンス株式会社  
全労済神奈川原本部  
大栄電子株式会社  
タカナシ乳業株式会社  
東京ガス株式会社  
東京電力株式会社神奈川支店  
東工株式会社  
東精工芸株式会社  
ナイス株式会社  
株式会社日建設計神奈川支所  
日本電気株式会社神奈川支社  
株式会社野毛印刷社  
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社  
株式会社日立製作所横浜支社  
不二音響株式会社  
平安堂薬局

株式会社ホテル、ニューグランド  
丸茂電機株式会社  
森平舞台機構株式会社  
株式会社山武  
株式会社有隣堂  
株式会社豊商舎  
株式会社横浜アーチスト  
横浜エレベータ株式会社  
株式会社横浜銀行  
横浜新都市センター株式会社  
横浜トヨペット株式会社  
横浜レストラン かわり  
株式会社ワイヤーソリューションズ

### ■協力

神奈川トヨタ自動車株式会社  
株式会社崎陽軒  
コココーセントラルジャパン株式会社  
サッポロビール株式会社  
JFEエンジニアリング株式会社神奈川支社  
鈴廣かまぼこ株式会社  
株式会社ソフィアスタッフ

株式会社東芝首都圏南支社  
ナイス株式会社  
株式会社野毛印刷社  
野村證券株式会社横浜支店  
三菱地所株式会社

### ■かながわアーツ倶楽部法人会員

上野トランステック株式会社  
株式会社ヴォートル  
株式会社オーチャー  
横浜トヨペット新聞社  
湘南信用金庫  
株式会社鈴廣蒲鉾本店  
tvk  
東工株式会社  
奈良建設株式会社  
株式会社野毛印刷社  
横浜信用金庫  
横浜レストラン かわり

2008年6月22日現在



クラシックなジャズナイト in 音楽室

photo: 青柳 聡